

令和3年度 第1回 一宮市学校給食審議会 議事要旨

日 時：令和3年11月9日（火） 午後2時～

場 所：本庁舎 1101 会議室

(司会)

開会に先立ち、委員2名公務のため欠席の連絡いただいておりますので報告いたします。
また、5名の方から傍聴の申し出がありましたので報告します。

(教育長)

〈あいさつ〉

(司会)

〈本審議会の説明、資料の確認など〉

(会長)

〈あいさつ〉

〈委員、事務局自己紹介〉

(会長)

議題1「食材費の動向について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

〈説明〉

(会長)

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

(会長)

栄養教諭の委員さん、いかがですか。

(委員)

共同調理場方式と単独校方式では、物資の購入方法が異なりますので一概には言えませんが、共同調理場方式では、2か所の調理場で食材の大量購入が可能であったり、食材業者の配送も2か所で済むため、食材価格が高くなっているとは言えるものの、まだ安定していると思います。ただ、昨年度、今年に入ってから、野菜などが高値安定といった状態であり、やはり毎日使う野菜などが高騰してくると、給食費は本当に厳しく、普通に今まで通りの献立を考えていても、予算の計算をすると赤字になってしまうことがあるので、厳しい状況になってきていると感じています。

(委員)

今、委員がおっしゃったように、共同調理場と比較しますと、お肉の価格などは、単独校は倍以上の仕入れ価格となっております、これだけでも、大分苦しいと思います。単独校と共同調理場では、メニューや調理の環境も違い、単独校方式は、手を掛けられる分、野菜など単品を使うことも多いため、野菜の価格が下がるとは、考えづらい状況ですし、食用油の価格が大変上昇していますが、揚げ物は少量でも、ある程度の量の油が必要なため、小規

模な学校でもある程度の量の油を買わなければならない、ただ、給食費は子供の人数に比例しておりますので、小規模な調理場ほど、よりお金がかかることとなりますから、そういった意味においても、単独校は厳しい状態にあります。頑張って経費節減はしておりますが、あまり節約しすぎると栄養価に影響しますので、悩ましいところです。

(会長)

行き詰って、こんな工夫をしたというようなことはありますか。

(委員)

全てに工夫しています。

(会長)

保護者の皆様のお考えもお聞かせいただけますか。

(委員)

なんといっても、子供たちの健康に関わることでございますので、安心・安全を優先していただきたいと考えます。先ほど話があったように給食費が足りなくて栄養が足らなくなってしまうというのは避けたいと思いますので、値上がりはやむを得ないと考えますが、いくらまでならいいのかについては、何とも思いが及びません。

(委員)

昨日、小学校で1年生の保護者の皆さんと、1食250円で給食試食会に参加しました。大人からすると、この量は若干少ないなと感じましたが、子供達の栄養バランスだったり、お米の量を聞くと、高学年で80グラムとの返答でした、食材や栄養バランスを考えるとそれが適切なのだろーと思いますが、金額に関していえば、親として給食費を支払う側ではありますが、あくまでも個人的にはですが、子供達の栄養バランスや量を考えれば、300円位出しても良いのかなと思います。

(会長)

他にありませんか。

(委員)

先ほどの献立の工夫の話になりますが、なるべく安い食材を使ったり、肉と一緒に大豆製品を混ぜたりといったような工夫は常々考えてやっております。

(会長)

タンパク量を満たすために、肉に豆を追加する等の工夫をせざるを得ないということですか。

(委員)

そうです。

(会長)

学校で勤務しておられて、給食の様子はどうですか。

(委員)

私は、1年生の担任をしておりまして、給食の量は十分あります。今の子供たち、偏食の子が多いので、その日の献立によって、カレーなどは完食となりますが、苦手な献立ですと、すごく工夫して提供してもらっているのに、少し残したりする子もいます。

(会長)

内容的にはどうですか。

(委員)

子供たちは、どちらかというと洋食好みの子が多いのかなと思いますけど、大人からすると、お味噌汁とか、具沢山の野菜いっぱいの方がおいしいなと思いますけど、好みもいろいろで、そういったものが大好きな子もいますし、野菜が苦手と言って、ほんのちょっとでも食べようねと言って付け分けても、食べられない子もいて、それを食べさせるよう、私たちも栄養の事などいろいろ教えながら、子供が自ら食べたいと思えるようにしていかななくてはならないことが、課題としてあります。

(会長)

他の委員はどうですか。

(委員)

所属する学校は、単独校です。今のお話にありましたように、野菜嫌い、魚嫌いとかの子供たちが結構います。それを食べやすくしてくださっている栄養教諭の工夫がたくさんあって、誠にありがたいと感じています。とは言いましても、食べない子はなかなか食べてくれない。ただ、子供たちは、本当に給食は大好きなので、給食の時間を待ちに待って、本校は調理場がありますので、3時間目くらいから匂いがして、子供たちは、何だ何だと言って、楽しみにしている状況がありますので、本当にお腹いっぱい食べさせてもらえる工夫をしていただいているので、ありがたく思っています。

(会長)

価格の話はいかがでしょうか。

(委員)

正直申しまして、単独校では、本当に工夫をしていかないと、なかなか、良い満足いくものにはなっていないので、もし、給食費を上げられるのなら、上げていただきたいと本校の栄養教諭は言っています。

(委員)

本当に、毎日、単独校の先生や共同調理場の栄養の先生方は、毎日考えなくてはならないので大変だと思います。今、コロナ禍で値上げについては非常に耳の痛いところではありますけど、子供たちのことを考えれば、保護者の方へのご負担は致し方ないと思います。それと、今話を聞いておきますと、単独校の栄養教諭の方々のご苦労というのは、本当に、野菜は安い単価ではありますが、手間をかけられて、大変だと感じております。そういった中で、今後、共同調理場をもっと早く促進していただき、一宮市の子供は、必要とする十分な量を同じ献立で食べられればと私は考えています。それには、安定供給、先ほどの共同調理場の話のように大量購入して、業者、調理場、双方にメリットとなれば非常に良いと思います。一宮卸売市場の委員の方お見えになりますが、大量に購入すれば、供給予測がしやすくなり、これぐらいのものをこれだけ用意して、市に納めるといった形がとりやすくなると思います。それにより、オール一宮となりますし、一宮の子供たちが元気に駆け回ることが出来るというものです。値上げについては、耳の痛いところではありますけど、安定した給食のためには、

出来るだけ値上げ額を狭めることをお願いするとともに、共同調理で大量購入できるように共同調理場方式を促進していただきたいと思いますと考えております。

(委員)

今、栄養教諭の先生方がご苦労されているお話がございまして、一方、コロナの関係は現在は落ち着いていますけれど、今後どうなるかわからないという状況にございます。栄養教諭の先生方には、もうしばらく、申し訳ないが、今の状態で頑張ってくださいまして、価格について話し合う機会があるとのことですから、今のところは、据え置きではどうかと考えます。

(会長)

今年度についてはということですか。

(委員)

はい。

(委員)

今お聞きしてございまして、大変厳しい中でも、栄養教諭さん、そして調理員さんが頑張っていたで、何とかやりくりをしていただいているという事がよくわかりました。先ほど、事務局からも説明をしていただきましたけれど、去年の資料と比較してございましたところ、消費者物価指数を基に仮算定した給食費を見ておりましたも、若干、令和3年度の方が高いかなという位の数値で、大幅な上昇ではないと言う数字であります。そういった中で、何とかやりくりをしていただいているということで、本当にありがたいと思っております。ただ、改定するにあたりましては、こういったいろいろな資料はもちろんです、さきほど事務局の方からお話のありました専門家の方を交えて検討していくという事ですので、より適正な価格を提案していただけるような形になるんじゃないかというふうに考えます。したがって、現状で、来年どうするかということでもありますけど、事務局提案では見送って、来年度に令和5年度以降のことを協議していきたいということでもございましたので、それは適正な判断と私は思っております。

(会長)

比較的緩やかであったけど、昨今、急に上がりだしたというご説明でした。厳しくなっていますが、今年度の給食費は大丈夫でしょうか？

(事務局)

今年度につきましては、この勢いが続いたら、3学期以降は相当につらくなる、同じように高止まり、若しくは上昇傾向になれば、来年度は、更に、栄養教諭の先生方には、ご無理を申し上げることになろうと思っております。先ほど来の議論をお聞きしてございまして、PTA代表の方々からも、もちろん、お金はかからないに越したことはないのですが、子供たちのためにやむを得ないものであれば、必要な範囲での上げ幅はやぶさかでないという風に理解させていただきました。また、栄養教諭の先生方からは、肉に豆を混ぜるなどの工夫のお話も伺いました。大丈夫かとのことについては、苦しい中でも、来年は何とか栄養教諭の先生にはご無理をお願いしたい、一方で、前回の改定から7年もたっており、仮算定で19円なり15円なり上がっています。よって、令和5年度は、給食費の改定を視野に入れた事

事務局提案をさせていただくことにせざるを得ないのではないかと想像しております。ただ、改定といいますが、衛生のためにやむ無く高いものを買わざるを得ないといったこともございまして、旧来と同じものを同じように提供した場合にいくらかかるのか、あるいは、献立の見直しにより、物価上昇とは別要因として余分に給食費が必要かどうかといったことにつきましては、この冬から細かい検討をし、その結果をもって次回の審議会で報告できればと考えております。

(会長)

何らかの専門的な部会を置くのですか。

(事務局)

前回平成27年の改正の時には、当時の会長からのご提案で、審議会の前に、どういう給食がいいのか、いくらがいいのかといったことを、校長、学校関係者、栄養教諭の代表らと事前に協議したのち、次回の会議に臨んでおります。大学の教授に毎回お越しいただくわけではなく、内部の学校関係の方々らと共に検討していけたらと考えております。

(会長)

事務局から、額を含め綿密な検討のうえ、次回は早めに開催するとの話がありました。給食費は、短期的には据え置きとして、次回審議会は早急に開催して、検討したものを再度議論したいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

(意義なし)

では、お願いします。

(会長)

議題1は以上でございます。では議題2「その他」について事務局からお願いします。

(事務局)

議題2のその他について報告が2件あります。

〈要綱の改正について説明〉

〈前回の審議会以降の新共同調理場の整備に進捗状況について説明〉

(会長)

ただいまの報告につきまして、ご質問がありましたらお願いいたします。

(委員)

オール一宮の考えに立ち、子供たちが同じ給食を食べて学校生活が送れるようにして子供たちを育てて欲しいと私は考えています。そのため、共同調理場方式で運営していただきたいと思っております。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。

(委員)

単独校は単独校で良い所があると正直感じています。子供たちが給食を待ちわびる様子は、センターの時にはなかったことで、子供たちが給食を楽しみにしているんだなと強く感

じます。

(会長)

ご質問も尽きたようですが、せっかくの機会ですので、あまり時間もありませんが、委員の皆さまから何かご意見ご質問等ありましたら、発言をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

<意見、質問等なし>

(会長)

意見、質問等ないということで、議事をこれで閉じさせていただきます。以上で、すべての議題を終えましたので、進行を事務局に返したいと思います。

(事務局)

それでは、これもちまして学校給食審議会を終了します。